

研究・調査報告書

報告書番号	担当
399	独立行政法人酒類総合研究所
題名（原題／訳）	
<p>Hepatocellular carcinoma displays distinct DNA methylation signatures with potential as clinical predictors. 肝細胞癌は異なった DNA メチル化シグナル（臨床的予測因子の可能性はある）を示す</p>	
執筆者	
Hernandez-Vargas H, Lambert MP, Le Calvez-Kelm F, Gouysse G, McKay-Chopin S, Tavitgian SV, Scoazec JY, Herceg Z.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
PLoS One. 2010 Mar 17;5(3):e9749.	
キーワード	
DNA メチル化、肝細胞癌	
要 旨	
<p>肝細胞癌（HCC）は検出が遅れ、進行が早いという特徴があり、エピジェネティックの混乱が分子的、臨床病理学的なその多様性の原因であると考えられている。メチル化状態の脱制御、いかにそれが病気の進行に関与するかをより理解することは、HCC の早期検出とより良い治療決定に役立つと思われる。筆者らは、30 例の HCC 腫瘍とその周囲組織におけるプロモーター領域のメチル化の変化の特徴を明らかにし、主要な危険因子（HBV、HCV、アルコール摂取）、腫瘍の進行状態に関連したメチル化の特徴を同定した。Illumina bead array 技術を用いて癌に関連した遺伝子のプロモーター領域を調べ、臨床病理学的なパラメーターを分類するために CpG サイトを決定した。独立した一連の HCC 腫瘍と対応した周囲組織を用いて解析を行い、HCC におけるメチル化の特徴を確認した。これによって、HCC と周囲組織、HCC と他の腫瘍タイプを識別できた。独立したプロモーターのサブセットのメチル化の異常は腫瘍の進行と病因（HBV、HCV、アルコール摂取）に関連があった。また、遺伝子のプロモーターの異なったメチル化は癌治療後の生存と強い相関があった。</p>	